

—病院理念— 「愛し愛される病院」

—基本指針—

- 1、私たちは、患者様、ご家族に「おもいやり」をもって接します。
- 1、私たちは、地域に信頼され貢献できる医療を提供いたします。
- 1、私たちは、患者様の在宅復帰を支援いたします。
- 1、私たちは、診療記録を正確に記載いたします。
- 1、私たちは、自己研鑽しよりよい病院を目指します。

【患者様の権利】

- 1、患者様は医療に関する説明を十分受けた上で、治療を受ける権利又は拒否する権利が有ります
- 2、患者様は医師、医療従事者が患者様の知り得た個人情報を守られる権利が有ります
- 3、患者様は病院、医師を自由に選ぶ権利が有ります
- 4、患者様は安全で適切な医療を平等に受ける権利が有ります
- 5、患者様は診療録の開示を求める権利が有ります

—全床 回復期リハビリテーション病棟へ—

平成20年8月1日に、2階病棟41床を回復期リハビリテーション病棟(2)の施設基準を届出させて頂きました。

現在までの、60床の回復期リハビリテーション病棟と併せて101床全てが回復期のリハビリテーションを行う病棟に変わりました。

回復期リハビリテーション病棟とは、脳血管疾患や大腿骨頸部骨折等の患者様に対して、日常生活動作能力の向上等を目的とした、リハビリテーションを集中して行う為の病棟です。

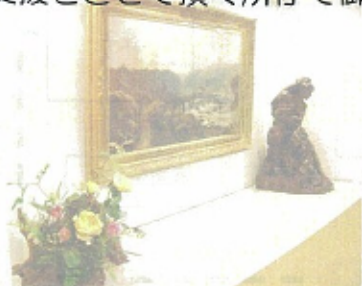
昨年から、当病棟(60床)を開設し、患者様・ご家族様から評価頂き、この杉並地域には、在宅復帰へ向けた、回復期リハビリテーションの病棟が必要であると考えた結果によるものです。

「杉並リハビリテーション病院」という名に負けぬ様に、「全床」回復期リハビリテーション病院となり、今後とも、地域の患者様・ご家族様と病院職員が一緒に在宅復帰及び、社会復帰へのご支援をさせて頂く所存で御座います。

杉並リハビリテーション病院 事務長 矢島 健二

ゆしま けんじ

けんじ



～脳卒中の種類と症状について～



内科 古屋 一 医師

脳血管障害とは、血管病変が原因で引き起こされる脳神経系の障害を総称する言葉で、一般的には脳卒中といわれています。

血管が破れたり、詰まったりすることで脳の細胞に栄養や酸素が供給されなくなり、脳の機能に障害が起こる病気です。

突然発作が起こり、障害が起こった場所によって半身の脱力、半身のしびれ、言語障害、視野障害、めまい、激しい頭痛などの症状が現れます。一般的に多い病名と病態を列記します。

脳出血

(高血圧性脳内出血)

高血圧が原因で脳の血管が破れ、脳の中に出血が起きる病気です

クモ膜下出血

脳動脈瘤の破裂や先天的な脳血管の異常による破裂で、クモ膜と軟膜の間出血を起こす病気です

脳梗塞

脳の血管が狭くなったり、詰まったりして脳内の血流が悪くなり、脳に障害が起こります

半身の脱力、半身のしびれ、言語障害、視野障害、めまい、激しい頭痛などの症状出現時にはこれらの病気になっている場合がありますので病院を受診しましょう。

北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書

当院では患者様の支援のために、医療・保健・福祉関係機関との連携を図った『地域連携診療計画書(地域連携パス)』を導入しております。患者様にとっても、医療機関にとっても様々な利点がある地域連携パス。今回は、その目的や流れについてご説明します。

1. 北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書の目的

脳卒中による障害を持った患者が急性期病院から、回復期病院など、そして在宅へ移行する場合にその療養環境は著しく変わります。

北多摩南部保健医療圏内で医療機関・医師会・行政・在宅支援者が、お互いに顔が見える連携を構築するためにこの地域連携診療計画書は作られました。

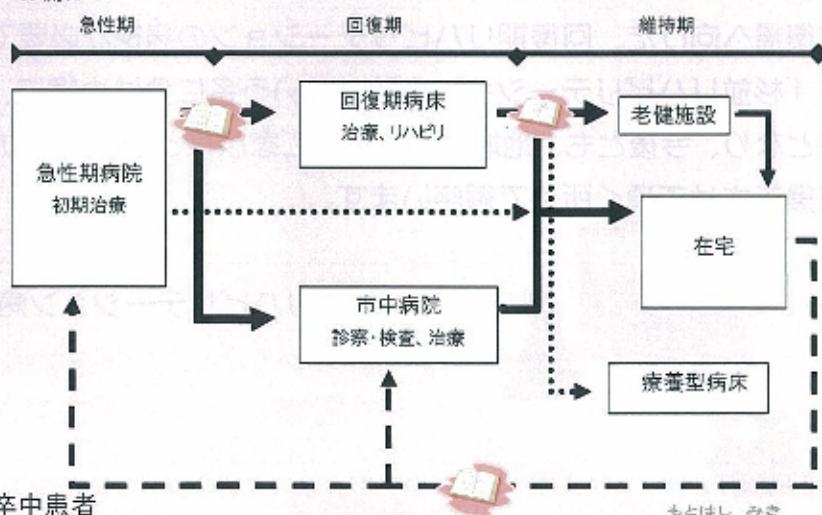
「患者が安心して地域で在宅療養を継続できるように支援するのに必要な情報交換ができるような仕組みづくりを目的とする」「患者・家族がカンファレンスに参加することで、患者本位の地域連携の実現を目的とする」そのツールの一つがこの『北多摩南部脳卒中地域連携診療計画書』です。

この地域連携診療計画書を活用することにより切れ目のない脳卒中診療連携が構築されることが望まれます。

2. 対象者

北多摩南部保健医療圏内(隣接市区部を含む)の医療・保健・福祉関係機関との連携が必要とされる脳卒中患者

3. 流れ



★特集★ リハビリテーション科 ~理学療法士編~

当院リハビリテーション科スタッフは総勢 38 名です。そのうち理学療法士(以下PT)は 17 名在籍しております。入院患者様と当院を退院された外来患者様の実践訓練、助言・指導を主に行なっています。



関節の動きを改善させて円滑な動きを出します

回復期の理学療法は入院初日から開始されます。PTは、今まで無意識に行っていた、寝返る・起き上がる・椅子に腰掛ける・立ち上がる・ベッドから椅子へ乗り移る・(歩く)といった基本動作から、座って食べる、着替える、トイレでズボンを下ろすなどの応用動作へつなげながら身体機能を回復する訓練を行ないます。

入院生活自体も「出来ることは自分でしていただく」方針で取り組んでおります。また、屋外歩行訓練、家屋状況が適切かどうかみる家屋訪問など帰宅後を見据えた指導まで幅広く行っております。

PT同士の勉強会も定期的に行ない自己研鑽できる環境の中、各科とも連携をとりながら患者様の自宅

復帰の支援に取り組んでおります。



患者様との歩行訓練。装具や杖などの処方も行います

はり元 もも元

理学療法士 堀江 百江

リハビリが必要な方、一緒にがんばりましょう!!

さわら

~脳卒中予防~

食欲の秋本番、これから冬にかけてますます美味しい食材が登場してきます。

そこで豆知識!

脂肪は1日のエネルギーの20%程度必要になりますが、動物のお肉に多く含まれる“飽和脂肪酸”はとりすぎると血液があぶらでドロドロ、動脈硬化の原因のひとつになります。逆に血液サラサラ効果のある“不飽和脂肪酸”は植物油そしてお魚(とくに青魚)に多く含まれます。お肉料

理に偏らず、お魚も食べて運動!
食事療法は特效薬ではありません。

「継続は力なり！」
です。



簡単レシピ ~さわらのコーンあんかけ~

材料(2人分)

さわら……………2切 料理酒……………4ml
塩……………適量 片栗粉……………8g
揚げ物用油

あん

コーン……………10g 中華味の素……………2g
ちんげん菜(ざく切り)10g 醤油……………6ml
にんじん(千切り)…4g A ハイミー……………適量
片栗粉……………2g 水……………60ml
卵(Mサイズ)…20g
ごま油……………適量

作り方

- ①さわらに酒・塩をふり、片栗粉をまぶす。
- ②180℃の揚げ油で①の魚を5分ほど揚げる。
- ③鍋にAを入れ沸騰させ、コーン、ちんげん菜、にんじんを入れ、味を調える。
- ④③の鍋に水溶き片栗粉を入れ、軽くロミをつけ、溶き卵を流し入れ、ごま油を加える。
- ⑤②の魚を盛り付け、④のあんをかける。

お料理のりお

管理栄養士 大山 徳郎

～当院の現況～

	平成20年7月	平成20年8月	平成20年9月
稼働率	92.8%	97.9%	94.6%
入院延べ患者数	2906人	3066人	2865人
在宅復帰率	62.0%	65.0%	64.0%
重症患者割合	37.9%	28.0%	39.2%
重症患者回復病棟改善割合	57.0%	85.7%	80.0%

*重症患者・・・日常生活機能評価で10点以上の新規入院患者の割合
 *重症患者回復病棟改善・・・重症患者のうち3点以上の者が改善している割合

ご意見
より

ご意見
病院の中に売店がないようですが、設置はしないのでしょうか。

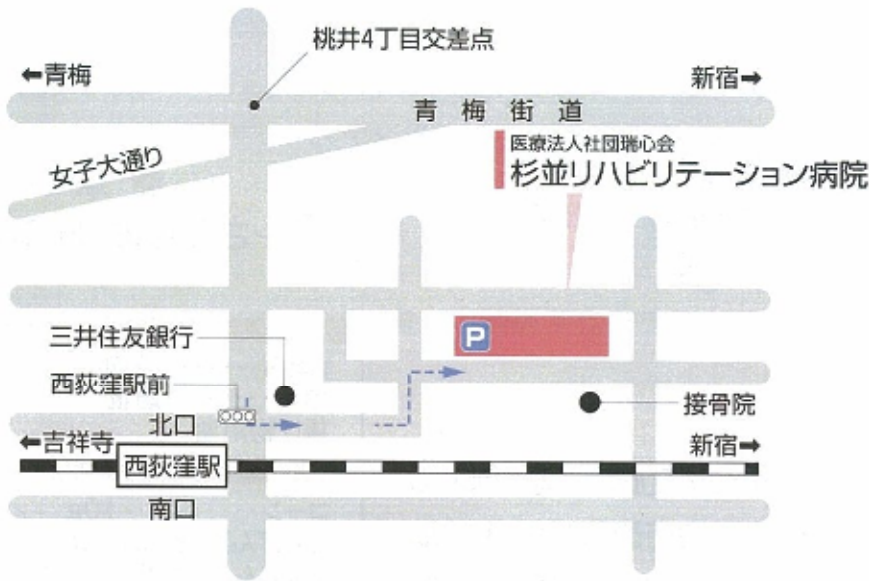


回答

20年10月17日よりセブンイレブンの訪問販売をはじめさせていただきました。

～今後も当院へのご意見・ご要望をお聞かせ下さい。職員一丸となり、よりよい病院になるよう日々努力して参ります～

交通のご案内



- JR中央線・総武線 西荻窪駅下車 北口 徒歩2分
- 青梅街道 桃井4丁目交差点より西荻窪駅方向約1km 西荻窪駅前信号を左(一方通行)

病院概要

開院	昭和43年10月
理事長	中村 康彦
院長	阿部 穰
病床数	101床(4床室・個室)
診療科目	内科・リハビリテーション科
診療時間	毎週 月・火・水・木・金 9:00~12:30

発行責任者 / 阿部 穰
 発行 / 杉並リハビリテーション病院 広報委員会

医療法人社団 瑞心会
 杉並リハビリテーション病院

〒167-0042 東京都杉並区西荻北2-5-5
 TEL.03-3396-3181(代) FAX.03-3396-3186(代)
<http://suginami-reha-tokyo.jp/>